

先週の説教要旨

『二人の王』 井上隆晶牧師
マタイ 2:13~15、19~23
エレミヤ 31:10~17

①【新しい出エジプト】イエス様が生まれるとすぐにヘロデ王はイエス様を殺そうとします。天使は夢でヨセフに告げます。「起きて、子供とその母親を連れて、エジプトに逃げ、わたしが告げるまで、そこにとどまっているさい。ヘロデが、この子を探し出して殺そうとしている。」(マタイ 2:13) そこでヨセフは起き上がり、夜のうちに二人を連れてエジプトに避難しました。この出来事は旧約聖書ホセア書 11:1 にある「エジプトから彼を呼び出し、わが子にした。」という預言の成就でした。ユダヤ教の教師たちの間ではメシアはモーセと似た運命をたどると信じられていました。マタイの福音書はユダヤ人に対して書かれてるので、モーセの生涯とイエス様の生涯を重ねて語られています。ですからこの物語はイエス様による「新しい出エジプト」なのです。イエス様は人類を導く新しい指導者であり、イエス様と共に旅をするヨセフとマリアは新しいイスラエルなのです。聖書が繰り返し、出エジプト、出バビロンを語るのは、信仰生活とはイエス様と共に約束の地(神の国)に向かって「この世を出る旅」であることを教えているのです。

②【起き上がり、信仰を守りなさい】ヘロデの迫害物語は、芽生えた信仰を殺そうとする悪魔的な力が働いていることを教えようとしているのです。ヘロデは皆さんに今日も働きかけます。教会に行くのを止めさせようとし、聖書を読むことも、祈ることも止めさせようとします。そのままなら皆さんの信仰は死んでしまいます。しかしこ

の物語は同時に、イエス様を、つまり信仰を必死に守ろうとした人がいたということを伝えています。ヨセフとその母マリアです。ヨセフはどうやってイエス様を守ったのでしょうか。ここには4回も「起き上がる」という言葉が出てきます。ヨセフには夢のお告げに対する迷いは見られません。彼はお告げを聞くとすぐ行動します。「起きる」ということは信仰と復活を象徴し、「寝る」は死と怠惰と絶望を象徴しています。信仰を守るには、絶えず神の言葉を聞き続けなければなりません。

③【神は全地を支配し、悪をも支配されて用いられる】父なる神様は、ご自分の独り子であるイエス様が迫害されても、すぐに手を下してヘロデを滅ぼすことをしませんでした。イエス様は殺されそうになって逃げ回っています。神はなぜ悪を速やかに滅ぼされないのでしょう。エレミヤ書にこのような文章が出て来ます。「これらの國を、すべてわたしの僕バビロンの王ネブカドネツアルの手に与え、野の獸までも彼に与えて仕えさせる。…しかし彼の國にも終わりの時が来れば、…彼を奴隸とするだろう。」(エレミヤ 27:6~7) 神はイスラエルを滅ぼすバビロン王を「わたしの僕」と言われました。バビロン王も神の道具であり、神の支配下におり、試練を与えることを神が許可しているのです。同じように、この世の悪い王たちも神の支配下にあり、神の僕に過ぎません。彼らは役目が終われば、自ら行った惡によって裁かれるのです。神が惡を滅ぼせば、すべての人を滅ぼさなければならなくなります。あなたの中にも惡があるからです。そこで神は惡の存在を赦し、惡を用いて善を生み出すことをされるのです。そうやって私たちの信仰を強くされるのです。↑

週報

日本キリスト教団 都島教会

伝道所設立 1957年12月1日 教会設立 2001年12月2日

〒534-0012 大阪市都島区御幸町2-6-17

TEL06-6922-1120 FAX06-6922-1120

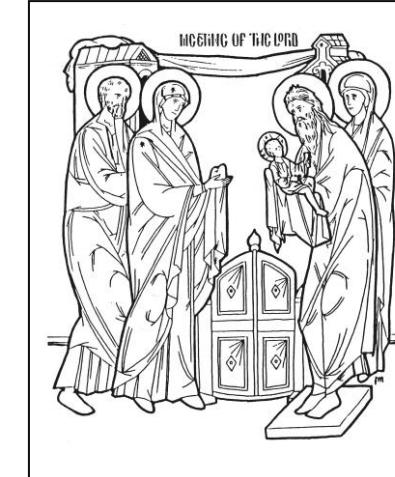
Eメールアドレス : 3533osgm@jcom.zaq.ne.jp

ホームページアドレス : <https://miyakojima-church1.com>

郵便振替 00920-4-1442 日本基督教団都島伝道所

主任牧師 井上 隆晶

2026年1月11日 No.1854



《神殿で献げられる》

都島教会の2025年度の宣教方針

標語 《会堂建築の準備をしよう》

聖句 「主御自身が建ててくださるのでなければ、家を建てる人の労苦はむなし。」(詩編 127:1)

2025年度の目標

- 1 毎週礼拝を守り、礼拝出席平均28名を目指します。
- 2 一年間に一人を礼拝にお誘いします。
- 3 信徒の交わりを大切にします。
- 4 会堂建築のための具体的な準備を進めます。